

# 石巻市 災害ボランティア報告

大阪御堂筋ローターアクトクラブ  
会長 高橋 洋子

大阪御堂筋RAC 1名・茨木RAC1名・関西大学RAC7名・大阪御堂筋RAC OB・OG2名、大阪中央RAC OB1名・RACメンバーの知人1名の合計13名で10月13日夜より石巻市に災害ボランティアに行きました。

10月14日昼、石巻入りをし、ボランティアセンターが設置されている石巻専修大学のキャンパスへ向かうまでの道中、GWに災害ボランティアで訪れ、作業を行った場所へ立ち寄りしました。ヘドロの掃除をしたドブは何度もの掃除を経て、きれいになっており、生活排水が問題なく流れているようでした。その周辺を見渡すと、以前は残っていた建物が取り壊されているなど、街の雰囲気は少し変わっていました。また、瓦礫の収集場は想像を絶するほどの車や瓦礫が積み重なっていました。しかし、悪いことばかりではなく、信号が復旧している、仮設住宅があちこちに見受けられる、一部の地域に新しいお店がオープンしている等、復興の兆しが見えました。

ボランティアセンターの方の指示に従い、作業場に移動しました。今回の作業は個人宅の片付けがメインでした。1日目は床下の泥撤去作業を行うことになり、メンバーの中でグループを組み、泥を土嚢袋に詰める、土嚢袋を外に運び出す、この作業を何度も何度も繰り返しました。泥は7カ月の間にすっかり乾燥していましたが、厚さ3cm程の泥が床下のあらゆる場所に残っていました。約400袋の土嚢袋に泥を詰め、すべての泥を撤去することが出来ました。

2日目は、勝雄にある個人宅の作業。勝雄は、今なお電気、水道等も復旧しておらず、まだまだ街中が生活の出来る状態ではありませんでした。地盤が下がり、防波堤は倒れ、満潮時は道路が海水につかってしまいます。また、この街は、台風12号の被害で

土砂崩れ等の被害も出たそうです。ボランティアセンターに連絡をすると、片付けにボランティアが来てくれるという情報等も行き届いておらず、その情報を知らされたのは、震災から7カ月経った10月14日。それまで、一人で漁業の道具を探し出したり、瓦礫を撤去したりされていたようです。私達以外にも数名のボランティアが合流し、漁業の作業場の瓦礫撤去、雑草抜き、漁業道具の整理等の作業を行いました。建物は全く残っておらず、すべてが瓦礫と化していました。雑草も私達の背以上に生長し、私道をふさいでいました。大人一人では抜くことが出来ないほどに生長していました。また、漁業に使うロープは津波や土砂に巻き込まれ、ぐちゃぐちゃに絡まっており、皆で協力し、根気よく1本1本ほどきました。

今回のボランティアでは被災者個人と関わり、色々な話を聞くことが出来ました。新築の許可は出ないがリフォームなら可能なこと、湾に入ってきた津波の影響で勝雄の小学校の屋上に流された家が乗ったこと、勝雄にきた津波は水が見えず流れてきた木材や瓦礫等が流れてきたこと。メディア等では伝わってこない本当の現実を知ることが出来ました。私達にできることは些細なことかもしれませんが、沢山の現状を見て、話を聞き、正しい情報を伝え、継続して出来る事を考えていくことであると感じます。

最後になりましたが、今回ボランティアに行くに当たり、大阪御堂筋ローターアクトクラブの皆様、卓話をさせていただいたローターアクトクラブの皆様、他ご協力いただいた皆様に感謝します。そして、このメンバーでボランティアに行けたことを誇りに思います。

